



「スポーツ吹矢式呼吸法」
胸式+腹式呼吸により、
健康効果・精神力・集中力
を高めます。

クロイズアップ
今を生きる 人がそが宝
第9回

社団法人 日本スポーツ吹矢協会

北海道会長

西村 雄一

(にしむらゆういち)さん

スポーツ吹矢の普及と発展をめざして

◆スポーツ吹矢との出会い

昭和17年に宇東丘の農家に生まれ、和寒小学校・中学校を卒業後、道立永山農業高等学校農業科を昭和36年に卒業。同年、農林水産省所管の北海道食糧事務所(旧風連町)勤め、以降昭和60年から食糧庁加工食品課(東京都)、横浜食糧事務所から宮崎や岡山の食糧事務所を転勤

しながら39年間公務員として日本中を駆け巡った。退職後は、東京の厚生年金基金の常務理事として4年間在職し、多方面において活躍をしてきた。そんな時、新聞記事で見たのがスポーツ吹矢である。西村さんは、健康にも良く、室内競技であることから天候や季節にも左右されず、子どもからお年寄りまで楽し

むことができ、北海道向きのスポーツだと感じたという。

この頃から、ふるさと和寒町に帰ることを考えていた西村さんは、早速協会本部(東京)に入会し、スポーツ吹矢の楽しさと難しさを経験し、平成16年7月にふるさと和寒町へ帰町。帰町後は、家族3人からスポーツ吹矢の楽しさを広めようと活動をスタート。そして、平成18年5月には2段を取得、同時に公認指導員としての認定を受けることとなる。これを機に会員募集したところ、当初は子どもたちが遊びにくるようになり、次第に会員数も増え、現在では18名の方々がスポーツ吹矢を楽しんでいる。

最近では、多くの新聞やテレビなどでも取り上げられるようになった。

◆スポーツ吹矢の魅力

スポーツ吹矢とは、直径約25cmの的の中心部に、吹矢をどれだけ正確に射止めることができるかという競技。段・級位によりその難易度も異なる。

◆将来の夢

西村さんは「会員数が増え、北海道大会が開催できるようにしたい。そして、全国大会にも選手が出場できるように、スポーツ吹矢の普及と発展を目指したい」と夢を語ってくれました。







西村 雄一さん[社団法人日本スポーツ吹矢北海道会長] 66歳
和寒町字東町 TEL0165-32-4224
出身：和寒町字東丘生まれ
経歴：1955年 和寒小学校卒業 1958年 和寒中学校卒業
1961年 道立永山農業高等学校農業科 同年 北海道食糧事務所以降 食糧庁加工食品課(東京)～横浜食糧事務所など
趣味：詩吟、写真、パークゴルフ